

令和元年度（第17回）

# 学生生活実態調査報告書

香川大学

## まえがき

この度、令和元年度の香川大学学生生活実態調査報告書が完成いたしました。この調査は、香川大学の学生さんが、どのような条件のもとで、どのような意識をもって学生生活を送っているのかといった、学生生活の実態を把握し、大学の諸施策の基礎的資料として活用することを目的に行っています。本調査は、1986年（昭和61年）の第1回以来今回で17回目となりました。また、第11回調査からは調査方法をWeb調査に変更し実施していますが、今回の調査は、7月1日から8月12日の期間実施し、在学生の約10%に当たる500名余りの学部学生さんから回答を得ることができました。協力してもらった学生さんには、心から感謝しています。ありがとうございました。

手軽に回答でき、かつ迅速に集計できるということで始めたWebによる調査ですが、回答依頼のはがきを送付した調査対象者でなくても入力可能なことから、前回までは、調査対象外の方がなんらかのきっかけでアンケート調査の存在を知り、回答することがあったため、学部間や入学年度に偏りが生じていました。今回はこの部分を改善するために、2桁の数字を該当者に送付するはがき内で通知し、回答時に入力してもらうという方法をとりました。その結果、回答の偏りを減らすことができました。今後も調査結果が学生全体の実態把握につながるよう工夫を重ねていきたいと思っております。

今回の質問項目は、経済状況などの基本的事項に関するものが19問、キャンパスライフに関するものが44問となりました。Q26の教員との交流に関する質問では、実態をより詳細に把握するため1・2年次と研究室分属後（3年次以上）で集計と分析を分けて行いました。詳しい結果は後述しますが、本調査の結果から学生の皆さんの多様な希望・要求を把握することができます。本調査で明らかになった結果は、学習環境や生活環境の向上を図るための基礎資料として活用したいと考えています。これまでも、この調査で得られた回答を契機に、短期貸付制度の創設やキャンパス間シャトルバスの運行などが行われ、学生生活支援の改善がなされています。

このように本調査は、大学として学生の皆さんの学生生活を充実させるためにはどのような支援が必要なのか、どのような施設・制度が不足しているのか、どこを改善していけばよいのか等を検証するための重要な役割を果たしています。学生の皆さんには、今年度も積極的な回答への協力に、重ねて感謝の意を表すとともに、今後とも学生の皆さんによる積極的な回答・入力を期待しております。

香川大学は「地域に根ざした学生中心の大学」を謳っています。これからも、大学のもつ課題に対する学生の皆さんの積極的な関わりや現状に対する率直な意見・提案を大切にしたい学生支援をめざし、学生生活充実の一役を担っていきたく思っております。

最後になりましたが、本報告書の作成にご尽力いただいた学生支援センター会議委員の方々及び関係する職員の方々に厚くお礼を申し上げます。

令和2年3月

副学長（学生支援・特命担当）  
山 神 眞 一

## 令和元年度学生支援センター会議委員

センター長	山 神 眞 一
副センター長	平 野 美 紀
バリアフリー支援室長	坂 井 聡
センター主担当教員	大 沼 泰 枝
教 育 学 部	小 西 憲 一
教 育 学 部	村 山 聡
法 学 部	溝 渕 彰
法 学 部	吉 井 匡
経 済 学 部	持 田 めぐみ
経 済 学 部	山 本 裕
医 学 部	森 永 裕美子
医 学 部	山 本 融
創 造 工 学 部	舟 橋 正 浩
創 造 工 学 部	寺 尾 京 平
農 学 部	奥 田 延 幸
農 学 部	山 田 佳 裕
地域マネジメント研究科	岩 本 直
保健管理センター	小 山 智 朗
教育・学生支援室	高 橋 神奈男

# 目 次

## 第1章 香川大学学生生活実態調査について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施期間	1
(3) 調査の対象と方法	1
(4) 調査の内容及び項目	2
(5) 集計と報告書の作成	2

## 第2章 調査結果の概要について

### I. 基本的事項について

1. 属性	3
2. 通学方法	6
3. 経済状況	9
(1) 住居の形態	9
(2) 住居を選んだ理由	10
(3) 部屋の間取り	12
(4) 1ヶ月の仕送り額	13
(5) 1ヶ月の支出額	14
(6) 1ヶ月の住居費	15
(7) 1ヶ月の食費	16
(8) 1ヶ月の奨学金	17
(9) 過去1年間のアルバイト経験	18
(10) 1ヶ月のアルバイト収入	19
(11) アルバイトの主な職種	20
(12) アルバイト収入の主な使途	21

### II. キャンパスライフについて

1. 学 業	22
(1) 学部・学科の満足度	22
(2) 1日の勉強時間	23
(3) 授業以外の取組	24
(4) アルバイトに費やす時間	26
(5) アルバイトと学業の関係	27
(6) 教員との交流	28
(7) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応	31
(8) バリアフリー支援室	32

2. 課外活動	3 3
(1) サークルへの加入	3 3
(2) サークル加入の動機	3 4
(3) サークルの感想	3 5
(4) 学業との両立	3 6
(5) サークルに加入しない理由	3 7
3. 職業選択	3 8
(1) 卒業後の進路	3 8
(2) 選ぶ基準	3 9
(3) 希望する分野	4 0
(4) 職業選定で重視すること	4 1
(5) 就職希望地域	4 2
(6) 就職活動で不安なこと	4 3
(7) 就職に関する大学への要望	4 4
4. 社会規範の遵守、犯罪の被害等	4 5
(1) 危険ドラッグについて	4 5
(2) サイバー犯罪について	4 6
(3) サイバー犯罪で被害にあった内容について	4 7
(4) 自転車の使用について	4 9
(5) 自転車事故に係る保険の加入状況について	5 0
(6) 自転車に係る交通規則の認知度について	5 1
(7) ブラックバイトの認知度について	5 2
(8) ブラックバイトの被害の有無について	5 3
(9) ブラックバイトの被害の内容について	5 4
(10) ブラックバイトの被害にあった際の対処方法について	5 5
5. 健康	5 6
(1) 保健管理センターの利用について	5 6
(2) 身体の具合が悪くなってきたときの対処方法	5 8
(3) 飲酒について	5 9
(4) 喫煙について	6 0
(5) 1日の睡眠時間について	6 1
(6) 1日の食事の回数について	6 2
(7) 精神的ストレス	6 3
(8) ストレスの原因	6 4
(9) 悩みの対処方法	6 5
(10) 学内の友人関係	6 7

<b>第3章 自由記述への回答について</b>	<b>6 9</b>
-------------------------	------------